

## 小学生とのタウンミーティング（要約(ようやく)）

テーマ：未来の松山のこと、私の住む地区のこと

令和7年1月25日（土曜日）

【市長】 今日、土曜日の午後に集まっていただきありがとうございます。また子どもたちを引率(いんそつ)していただいた先生方、また保護者の皆さん、本当にありがとうございます。さて、これから始めるタウンミーティングですが、いただいた意見を松山市のまちづくりに生かしています。このタウンミーティングですが、私が市長になってからずっと続けていまして、今回で142回目ということになります。松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町合わせて41の地区に分かれます。いつものタウンミーティングは、この市内の41地区を回って、地域の皆さんとお話をしたり、また世代別と言って、中学生に集まっていたりとか、高校生に集まっていたりとか、また、子育て中のお父さんとかお母さんに集まっていたりとか、またあるときは、おじいちゃんやおばあちゃんに集まっていたりとか、また、職業別と言って、農業をやっている方々に集まっていたりとか、商店街の方々に集まっていたりとか、いろんな形でタウンミーティングをしています。これまで大人の方と一緒に小学生も参加してくれることはあったんですけども、小学生だけで開催するのは今回で3回目ということになります。また参加した皆さんから「松山市の取り組みがよく分かって勉強になった」との声が多くありましたので、現地現場で働く市の職員が皆さんの生活に役立つお話をする「広報タイム」を意見交換の途中(とちゅう)で行っています。こちらに書いていますが、「食品ロスをへらしましょう」を、ちょうど中ほどお話をさせていただきます。今松山市では、子どもの皆さんをこれからはしっかりと支えていくためにどんなことをしていくか決める「こども計画」っていうのを、たくさんの方のご意見を聞いて作っています。今日のタウンミーティングでも、松山市をよくする意見やアイデアをどんどん発言してください。皆さんのご意見に対しては、できるだけこの場でお答えします。中にはいろんな人と相談しなくちゃいけない内容もあったりします。お金が多くかかるようなこともあります。いい加減(かげん)な返事をするにはできないので、しっかりと考えた答えを1カ月後に必ず皆さんにお返事をします。やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないというのが松山市のタウンミーティングの特徴(とくちょう)です。今日は小学生の皆さんが普段どんなことを考えているのか知る機会になりますので、とっても楽しみにしています。お願いがありまして、緊張(きんちょう)したらいかんよ。あんまり緊張せず(きんちょう)にいい意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

【久枝小】 久枝小学校の通学路には歩道のある大きな道路がある一方、歩道がない小さな道路もあります。特に歩道のない小さな道路は道幅(みちはば)がせまいにも関わらず、自動車の交通量はとても多く危険です。久枝小学校では、児童の代表が集まって、交通安全についての話し合いをして、安全な登下校についての意識を高めていっています。一人ひとりも、

交通安全を意識して登下校するのですが、自動車の運転手さんにも気を付けてもらうために、道路標識(ひょうしき)や路面標示(ろめんひょうじ)を設置(せっち)していただけないでしょうか。

【教育総務課長(きょういくそうむかちょう)】 はい、質問ありがとうございます。子どもたちの登下校の安全に関するご意見です。松山市では、昨年、令和6年の12月19日に警察、道路管理者、学校の先生、保護者、地域の方々などと一緒に通学路の合同点検(ごうどうてんけん)を実施(じっし)したところでした。点検後、何ができるのかを考えて、令和7年。今年の3月末までに道路上に通学路と文字のイラストをつけて、車の運転手の方に通学路を知らせることにしています。これからも皆さんが安全に登校できるように取り組んでいきたいと思っています。

【市長】 松山市では交通事故があつてはいけないということで、通学路の緊急点検(きんきゅうてんけん)などを行っているんですね。今までに定期的な点検と、何かあったときにその都度(つど)、点検をしています。今までに、通学路の緊急点検をして、何らかの対策が必要な760カ所のうち726カ所を対応しています。中には、例えばガードレールを全部に設置すると安全にはなりますが、ガードレールを設置しちゃうと、そのおうちの人が車庫に出入りできなくなるケースがあるでしょう。そういうところは、ガードレールができないですよ。ですので、ちょっと大人の言葉で「ハード」と「ソフト」って言うんですけど、ハードでできるものは対策をする、できないんだったら、その登下校の見守りの大人の人に見守っていただくとか、保護者の方に見守っていただくとか、いろんな対策で安全策を講(こう)じています。よろしくお願いします。

【河野小】 私達の学校ではプールの老朽化(ろうきゅうか)が進み、現在プールが使えなくなっています。自分たちの学校で水泳の授業を続けたいと思っているのですが、プールの再建(さいけん)は難しいという話を、担任の先生から聞きました。そこで私達はプールを再建するのではなく、プールの跡地(あとち)をどのように活用するべきかを考えました。例えば番町小学校ではプールの跡地に「愚陀佛庵(ぐだぶつあん)」ができるという話をこちらで聞きました。一方、私達の通う河野小学校では校庭にあったジャングルジムがなくなっていました。周りの友達にアンケートをとってみると、アスレチック広場などを初めとした河野地区の子どもたちはもちろん、地域の人たちとも楽しめる場所が欲しいという意見が多数出ました。プールの跡地再利用をしてほしいと思います。

【教育総務課長】 質問ありがとうございます。松山市内の小学校・中学校のプールは40年から50年前に建てられたものが多くだいぶ古くなってきている状況です。そのため松山市では、昨年、令和6年の夏、自分の学校以外のプールで水泳の授業ができるかどうかを確かめるため、一部の学校に施設のプールや近くの学校で、水泳授業を実施(じっし)していただきました。河野小学校の児童の皆さんは栗井小学校のプールで水泳の授業を実施して

いただき、それらを確認した結果でありますとか、子どもたちの意見を聞いて、これから水泳授業をどうするのか考えていきたいと思えます。

【市長】 今の河野小学校さんのお話を聞いて、ジャングルジムがなくなってしまったんだということを知りました。ちょっと私としても、どうしてジャングルジムがなくなったのかなという経緯(けい)を知りたいので、私の方から教育委員会(きょういくいいんかい)の方には聞いておきますね。会の最初にも言ったんですけども学校関係で言うと、熱中症にならないように、全ての学校の普通教室にエアコンをつけました。子どもさんたちっていうのはもう未来、松山の未来ですから、そんな子どもたちが長く過ごす校舎が地震に対して弱いつていうことだといけませんよね。校舎の耐震化(たいしんか)工事は、もう、終わっています。今はですね、建物を長く使えるための工事を学校によってしたりとか、またトイレを和式から洋式に直したりとか、またエレベーターをつけたりとか、明るい照明(しょうめい)のLEDに交換したりしています。たくさんのお金がかかるんですけども、やりくりをしながら進めていきたいと考えています。よろしくお願ひします。

【窪田小】 私達は、学習用タブレット端末(たんまつ)について教えていただきたいです。学年が上がるにつれて、タブレットを活用した授業も増えてきました。タブレットを使った授業は楽しく、すぐに調べることができるので、勉強も分かりやすくなりました。タブレットドリルやデジタル教科書など便利な機能も多いです。しかし、タブレット自体が少し重たいことや、特に最近、充電(じゅうでん)が減りやすくなったと感じることも増えました。そして全員で授業中にタブレットを使っていると、読み込みが遅く、画面が固まる場面も増えています。そこでタブレットの性能が今以上に良く、もう少し軽い端末になれば、もっと学習しやすくなると思えます。来年度末には新しい端末に変わると聞いていますが、どのようなタブレットにする予定ですか。また、今は外国語と算数のデジタル教科書が入っていて便利ですが、今後どのような教科で導入(どうにゅう)されていく予定なのかを教えてください。よろしくお願ひします。

【市長】 よく知っていますね。私57歳になりますが、私の子どもの頃は当然タブレットなんかなくて、えんぴつと紙の教科書、紙のノートでしたね。松山市では4年前にデジタル技術を使って簡単に便利に、時代に合った学びができるように、1人1台のタブレットを用意しましたが、確かにバッテリーが弱くなったり、また動きが悪くなったりしています。来年度中に、令和7年度ですけれども、全ての市立の小学校・中学校で、今より充電が長持ちして、動きの速い新しいタブレットに交換する予定です。デジタル教科書は小学5年生から中学3年生を対象に、英語は全ての学校で、また、算数・数学は一部の学校で使っているんですが、今後どの教科で、どのデジタル教科書を使うのかは、文部科学省(もんぶかがくしょう)になりますが、国が考えているところですね。皆さんはこれからも動画が見られたり、文字が音声で読み上げられたりする機能をフルに活かして、学習能力を高めてほしいと考えています。

【坂本小】 坂本地区を通っていた路線(ろせん)バスが、2年ほど前にはなくなりました。また、坂本地区を歩くお遍路(へんろ)さんは、地域の方との関わりをととても喜んでくれているそうです。坂本地区でお接待をする坂本屋(さかもとや)は日曜日だけ空いています。平日に遍路道の近くに小型バスを走らせて、バスの待合所(まちあいしょ)やバスの中で地域の方と触れ合うことができるようにすれば、地域の方にとっても遍路さんや観光客にとっても素敵(すてき)な場所になるのではないのでしょうか。よろしくをお願いします。

【まちづくり推進課長(すいしんかちょう)】 地域のことを思ったご意見ありがとうございました。久谷(くたに)地域では、昔の遍路宿(やど)だった「坂本屋」は毎週土曜日と日曜日。そこから3キロ下りた接待所(せったいしょ)の「丹波の里(たんばのさと)」は毎週水曜日に、そして国の重要文化財であります「渡部家住宅(わたなべけじゅうたく)」は毎週日曜日に、地域のボランティアの方々がお遍路さんとお話をしたり、おやつをお渡ししたりしてコミュニケーションを深めています。また坂本公民館では、子どもたちにふるさとへの愛着を深めてもらおうと、坂本小6年生にお遍路文化を学べるお接待の体験をしてもらっています。松山市では今日いただいたご意見も参考にして、地域の皆さんと一緒に遍路文化を生かしたにぎわいづくりや、ふるさとへの思いを育てる活動に取り組んでいきたいと思っています。

【市長】 お遍路さんって、昔はもう歩いて回るしかなかったんですね。今はバスとか車とかで回れますよね。でも、車やバスで回れるとしても、確か1400キロだったから、すごい距離です。お遍路さんは各地の人との触れ合いをととても喜ばれます。ですので、皆さんもお遍路さんに出会ったら、「こんにちは。」「気をつけてください。」とか、言葉をかけてもらおうと、喜んでいただけるんじゃないかなと思います。それとみんなに一つだけ。あの四国88カ所って順番があるんですよ。回っていく順番があるんですけど、特に歩いてくるお遍路さんは、さっき質問してもらった久谷地区、坂本地区は、久万(くま)の方、山の方から歩いてくると初めて平野が見えて街が見えて海が見えるっていうようなところなんです。なので、「うわー、松山にやってきた。」って感じてもらえる、お遍路さんにとっては入口のようなところで、私はととても大事にしたいと思っています。これは大人だけでなく子どもたちも、このお遍路さんの文化を継承(けいしょう)してもらおうと、とてもありがたいなと思うので、どうぞよろしくをお願いします。久谷だけじゃなくて松山市にいっぱい札所(ふだしょ)があるからね。8つのお寺があるから。

【難波小】 私達の学校は、全校児童が52人の小さな学校です。そのため、2学年が一緒のクラスになっているところがあります。同じ教室で、2学年がそれぞれの勉強をしているので、話している人が複数いて、集中しにくいときがあります。また、2学年一緒だと、担任の先生が1人しかいないので、授業中に問題が解(と)けずに困(こま)っていても、なかなか聞くことができません。それぞれの学年が1つずつのクラスになったら、先生も増えて、自分たちの学習に集中できると思います。僕は単級ですが、5年生のときに6年生と一緒に

勉強することもあり、6年生の教科書で授業を受けた教科があります。少し文章が難しく、分かりにくかったです。人数が少なくても、自分の学年の教科書で勉強ができれば良いと考えます。

【教育総務課長】 学年の人数が少ない場合は、国の法律で、いくつかの学年が一緒のクラスで勉強するように決められています。これを「複式学級(ふくしきがつきゅう)」と言います。複式学級では、担任の先生が、片方の学年の勉強を説明しているときは、もう片方の学年は問題を考える時間にするなど、皆さんが勉強をしやすいように、スムーズに進むように工夫して授業をしているところです。分からないことがあれば、後で先生がしっかり答えてくれると思いますので、遠慮(えんりょ)なく質問をしていただけたらと思います。なお、クラスの人数が多いと、スポーツやクラス活動のときに、できることが増えたり年齢の違う友達のいろいろな考え方なども分かったりして、自分の成長につながる部分もあると思います。これからも、クラスのみんで助け合って、楽しい学校生活にしていきたいと思います。

【市長】 国の法律で決まっているんですね。ちょっとかたい用語だけど、もうみんな6年生かな。もう中学生が近いから、ちょっとよく聞いてみて。よく聞いたら、なるほどなと思う。法律の言葉が、「他の学年の児童と合わせて、16人までのときは、これをもって1学級を編成(へんせい)する。ただし、1年生を含むときは8人とする。」っていう、こういう法律があるのね。ですので、それにのっとってやるっていう形です。小さい学校というようなお話がありましたが、今まで僕は、松山市長を14年やらせていただいて、いろんな地区の運動会に行かせていただくことがあるんだけど、大きな学校は大きな学校でやっぱり利点があって、小さな学校は小さな学校で利点があるんです。ある学校の校長先生とお話していて、「この子たちは、児童数が少ないから必ずリーダーを経験してから中学校に行くんですよ。」って言われました。大きい学校だと、みんながリーダーを経験するっていうのは、難しいかもしれませんね。そういう機会が少なくて。でも、児童数の少ない学校だと、リーダーを必ず経験してから中学に行くとき、「なるほどな、これは小さな学校、児童の少ない学校の利点だな。」っていうのを感じたんです。なので、大きい学校は大きい学校で利点があるし、小さな学校、児童数の少ない学校は、少ない学校で利点があると思いますので、それぞれに良さがあると思います。自分の意見をしっかり持つということが大事だと思います。がんばってください。

【味生小】 私達が普段、登下校などで歩いている道端(みちばた)で、よくたばこの吸い殻(すいがら)やお菓子の食べかすなど、いろいろなごみが落ちていて、ポイ捨てをしている人が多いなと少し感じています。ポイ捨てされているごみは、主に道端に落ちていますが、水路にも落ちてることがあります。水路に落ちているごみが水を汚染(おせん)してしまい、公害問題を起こしてしまう可能性があります。なので、ポイ捨てに対する取り組みを教えてください。

【企画戦略課長(きかくせんりやくかちょう)】 ポイ捨ての話ということで、松山市は、ごみのポイ捨てを禁止する条例(じょうれい)というのを作っています。だけど、なかなか減らないってということもあるので、みんなに気をつけてもらうため、例えば看板(かんばん)を設置(せっち)したり、そういうのを松山市で配ったりしてお手伝いしたりしています。今言われた通り、ポイ捨てしたごみが、結局、雨で流れて水路から海に出て、今、海の汚染が、世界的な問題になっています。ですので、松山市も、例えば、市民大清掃として、7月の2週目の日曜日に、「みんなで清掃しましょう。」っていう活動をしたり、企業の方とかに、ボランティアで自分の敷地(しきち)の周りを拾ってもらったりとかそういうこともしています。これからも、松山市が美しいまちだと言われるように、行政もしていきたいと思いますので、皆さんもご協力よろしくお願いします。

【市長】 重ねてになりますけれども、地域の皆さんが、家の前にごみを捨(す)てられて困(こま)っている場合には、「ポイ捨て禁止」っていう看板を無料でお渡しして、たくさんの人が見るところに貼(は)ってもらうことができるんですね。困っていたら、遠慮(えんりょ)なく市役所に言ってください。それで、皆さんもだいぶ高学年になっているから、ちょっと外国の話をするね。アメリカのニューヨークでちょっと治安(ちあん)が悪いときに、「ブロークンウィンドウ理論(りろん)」っていうのがあって、当時のニューヨークの市長さんが、ブロークンウィンドウ、窓(まど)が壊(こわ)れている、窓が割られているのをそのままにしていると、「この地区は窓を割ってもいいんだ。」っていうことで、どんどんどんどん治安が悪くなる。そういう割れた窓に、きちんと対処(たいしょ)していくと治安が良くなるっていう、これをブロークンウィンドウ理論っていうんです。ごみも一緒に、きれいなところだと、なかなかちょっと捨てにくかったりする。ごみがいっぱいあったら、「もう捨てるでもいいんじゃないか」ってなっちゃうので、みんなで協力をして、ごみの少ないまちを作っていくことが大事です。それはやっぱり子どもさんも大事にしてほしいし、「子どもがこうしょんやけん、大人はそんな恥(は)ずかしいことしたらいくまい。」ってなります。みんな自分の家だったらポイ捨てしないよね。やっぱりみんなが意識を持つことが大事かなと思います。よろしくをお願いします。

【垣生小】 松山にショッピングモールや水族館など、人が集まる施設を作る予定はあるんですか。

【市長】 ちょっと今日はJ R松山駅付近のスライドはないかな。あるかな。ちょっと出してもらえますか。もう1回質問を言ってもらっていい。座(すわ)ったままでいいよ。

【垣生小】 松山にショッピングモールや水族館など、人が集まる観光施設を作る予定はありますか。

【市長】 分かりました。水族館はちょっと厳(きび)しいかなと思っています。ちょっといろいろ水族館のことを考えたことがあるんですが、ちょっと難しいかなと思っています。今、J R松山駅なんですけど、J R松山駅があって、こっちが西側、総合公園の方ですね。こっ

ちがお城の方になりますね。松山駅の土地になります。ここが多目的のアリーナ、5千人規模(きぼ)。これは今、Bリーグって言って、バスケットですね、全国で広げていこうっていうので、その基準(きじゅん)が5千人以上なんですよ。なので、わざわざ4千人のアリーナとか、3千人のアリーナを作る必要はないですよ。これはスポーツ団体や経済団体からご要望(ようぼう)をいただいて、5千人規模のアリーナ、スポーツだけじゃなくて、コンサートや他のイベントなどでも使えます。災害があったときにも、備蓄物資(びちくぶつ)とかを置いておくような、そういうところ。そして、文化団体からご希望がある、市民の方が使いやすい小規模のホールを作る予定で、今、動いています。規模とかをどうするのかっていうのは、関係団体の人と、しっかりと話しながら決めていきます。ここら辺りですね、JR松山駅の、こっちだから北側、北条の方ですとか、今、松山商工会議所さんがある辺りとか、この辺りに民間の土地があるんですが、ここに、例えばホテルだったりとか、商業施設だったりとか、飲食店とか、アミューズメント施設。今、夏が、さっきも言ったように、35度とか36度ぐらいまで上がるから、夏にすべり台に行ったら、ちょっとお尻が焼けそうとか、そんなこともありますよね。だから、あんまり暑さ寒さに関係なく、子どもさんたちが遊べるようなアミューズメント施設を民間に作ってもらえるように、今、交渉(こうしょう)をしているところです。どうしてもですね、こういう再開発(さいかいはつ)って時間がかかるんですけども、お隣の高松駅は、2001年に新しい駅ができて、去年、駅ビルができて、だいたい再開発は完了したんですけど、去年が2024年だから、23年かかっているんです、新しい駅になってから。でも、とてとても23年かけるつもりは全くありませんので、今、民間の方々と一生懸命話をしています。途中段階(とちゅうだんかい)のことを言えたら僕も楽なんだけど、「今ここの企業さんと交渉してますよ、今ここまで来てますよ。」って言っちゃったら、民間さんとのお話を、「何で市長さん途中段階(とちゅうだんかい)で言っちゃったんですか。」って、いわゆる破談(はだん)になってしまってもいけないので、完成するまで、計画が出来上がるまではちょっと言えないんですけども、しっかりと今、大人は交渉しているところです。皆さんに良い松山駅周辺を残していきたいと思っています。

【余土小】 私達が住んでいる余土地区には、「日招太鼓(ひまねきだいこ)」という地域に伝わる文化があります。私は4年間、その日招太鼓を習っています。教えてくださる先生は、ボランティアで来てくださる地域の方々です。余土地区にある日招神社で行われており、10月に豊作(ほうさく)を祝う秋祭りで、日招太鼓が演奏(えんそう)されたり、獅子舞(ししまい)が踊られたりしています。「日招き」の意味は、元暦元年(げんりやくがんねん)1184年、佐々木高綱(ささきたかつな)入国(にゅうこく)の際に、砥部城主(とべじょうしゅ)、荏原城主(えばらじょうしゅ)と合戦となり、勝敗(しょうはい)の決まらないまま日没(にちぼつ)となる時、当社に祈願(きがん)し、扇(おうぎ)で入日(いりひ)を迎(むか)え招くと日がのぼり、勝利を得ることができたことから、「日招八幡宮(ひまねきはちまんぐう)」と改めたとされています。余土地区は、ずっと暮らしたいと思える大好きなまちなので、

僕たちもこれから、地域の伝統や文化を大切にしたいのです。松山市では、伝統や文化を残していくために、どのような取り組みをされているのですか。また、私達にできることはありますか。

【まちづくり推進課長】 松山市では、伝統を守る団体に、その活動費用の一部をご支援させていただいたり、松山市が活動を応援する「松山市青少年育成市民会議(まつやましせいしょうねんいくせいしみんかいぎ)」に、たくさんの人に見て知ってもらえる「まつやま芸能文化大会」を開催してもらったりするなど、市民の皆さんと一緒に、次の世代につなぐ取り組みをしています。また、松山市が活動を応援する「余土地区まちづくり協議会」では、成人式や敬老会(けいろうかい)で日招太鼓を演奏してもらったり、獅子舞などの伝統文化を学ぶ学習会を開いたりしています。皆さんにできることは、地域の歴史や伝統文化の良さを知ることです。その良さを多くの人に伝えることで、伝統を未来につなげることができると思っています。

【市長】 うれしいなと思いました。小学生さんから伝統文化のお話が出て、つないでいきたいみたいな話があったんで、うれしいなと思いました。各地区で、それぞれ伝統文化があると思います。それで、コロナの期間があったでしょう。地区の大人たちと話していると、その人たちは獅子舞の人だったんだけど、「コロナの期間中は、獅子舞を後の世代に伝えていきたいのに、集まることができない、教えることができないので、この3年、4年の間、このタイムラグが大変なんよ。」って言われていました。ですので、大人たちはつないでいきたい、子どもたちは教えてほしいっていうのがすごくいい形なので、ありがたいなと思いました。日招き太鼓ね、あの日招神社っていう、いいお名前の神社さんあるよね。本当、子どもたち、次の世代の皆さんが伝統文化を引き継いでいくことは、とても大事だと思います。

【小野小】 松山市は水道代が高いと聞きますが、安くなる方法ありませんか。また、水が安い地域から安く売ってもらうことはできないのですか。

【市長】 私の持っている知識でお話します。水が少ないところは、どうしても値段が高くなってしまいます。ちょっと、私の記憶(きおく)の中でお話をしますが、例えば水がとっても豊富(ほうふ)なところは、どうしても水は安くなります。水道代は安くなります。他のところから、水を持ってくるっていうのは、非常にちょっと難しい言葉になってしまうんだけど、「水利権(すいりけん)」という言葉があって、「水」に利用の「利」、権利の「権」って書きます。お水はとっても大事なもので、田んぼ、稲を作るときも、お水がないと育てられませんよね。水は川上(かわかみ)から川下(かわしも)、上流から下流に流れてくるので、極端(きょくたん)な話、上流の人が止めてしまったら、中流や下流にはお水いかないんです。水はそういうように、とっても貴重なものなんです。前回のタウンミーティングで、申し上げたけど、間違ってたら言ってくださいね、確か、地球で使えるお水、飲めるお水はどれぐらいの割合ですかっていうと、お風呂全体に水を溜(た)めて、その中で飲める真水(まみず)っていうのは、スプーン一杯ぐらい。今、私達が上水道で手を洗ったり、飲んだりしている



のはすごく貴重なんです。なので、「水利権」という難しいところがあって、とても水の多いところから引っ張ってくるっていうのは、まずちょっとなかなか同意が得られないだろうなっていうのと、引っ張ってこようと思ったら、ものすごい大きい水道管を作らないといけないと思います。水道管は土の中に作りますから、かなりお金がいる。お金がかかったら水道料金が、当然反映(はんえい)して上がるっていうことなので、ちょっとなかなか難しいと思います。でも、私達はただただ、高くはしたくないので、いろんな経費削減策(けいひさくげんさく)とか合理化策(ごうりかさく)をして、できるだけ水道料金を上げないようにして皆さんにお届けをしています。ですので、これからもがんばっていきますので、ご理解のほどよろしくをお願いします。

#### 広報タイム「食品ロスをへらしましょう」

【道後小】 ジェンダー平等の達成度(たっせいど)について質問します。他の物事ともたくさん関わりのあるジェンダー平等は、未来の松山を誰もが住みやすいまちにするためにとても重要な課題です。愛媛県の2023年度、ジェンダーギャップ指数(しすう)は行政43位、政治23位、教育25位、経済14位という結果でした。また、私達小学生も「男だから、女だから」という理由で違う扱いを受けた経験が何度もあります。また、全国で初めて「ジェンダーギャップ解消戦略(かいしょうせんりやく)」を策定(さくてい)した兵庫県豊岡市(とよおかし)では、「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議」や子どもと大人の意見交換や不安を相談できる場所の設置、女性のための相談窓口などがあります。松山市では今どのような取り組みをしているのか、これからどのような取り組みをしていきたいか、また市役所や市議会の男女の割合などについて市長さんのお考えをくわしく知りたいです。

【市民部長(しみんぶちょう)】 ジェンダーについてよく勉強されていますね。ジェンダーとは、社会や文化の中で、昔から無意識に捉(とら)えられている男性と女性の違いのことを言います。例えば、「お父さんは外で働くべき」「家事や子育てはお母さんがするべき」といった考え方です。しかし、実際は、仕事をして社会で活躍している女の人もいれば、家事が得意で、子育てにも積極的に関わる男の人もいらっしゃいます。「男だから、女だから」という考えに捉(とら)われることなく、自分が好きな勉強をして、得意な仕事を選んで、それぞれの力を発揮(はっき)できる社会をつくるのが、みんなの幸せにつながります。松山市では、各種の相談窓口を設けています。そのほか、会社や地域に出向いて勉強会もしています。学校でも、ご希望があればお話ができますので、先生を通して人権・共生社会推進課(じんけんきょうせいしゃかいすいしんか)というところがあるんですけども、そちらの方にご連絡をいただいたら、学習会に行きますので、よろしくをお願いします。それから、市役所の女性職員の割合ですけれども、全体の約30%、市議会は約25%が女性議員です。

【市長】 4月になったら、松山市の市役所職員さん、新しい職員さんが入ってこられるんですけど、今、合格されるのは女性の方が多いいんじゃないですかね。どんどん、女性の職員

さんの割合が増えてくるんじゃないかなと思います。皆さん「アンコンシャス・バイアス」っていう言葉を知ってますか。「コンシャス」は「意識(いしき)」、「アン」は「否定(ひてい)」ですね。自分では気づかないうちに、こうだと決めつけてしまうことです。「この仕事は男性」とか「この仕事は女性」って思ったりとか、「ピンクのランドセルは女の子のもの」っていうふうに思ったり、こういうのを「アンコンシャス・バイアス」って言います。無意識なんで気づきにくいですが、気づくと人に優しくなれたり、自分の可能性が広がったり、みんなが幸せになると思いますので、これも意識してもらうことが大事です。よろしく願いします。

【北条小】 北条では、春に鹿島(かしま)まつり、秋に地方祭があります。春には櫛練り(かいねり)などの踊りも、秋の地方祭には各地区でいろんなだんじりが出てきます。市長は、北条地区の祭りをこの先どのように発展させていきたいと考えていますか。

【まちづくり推進課長】 松山市では、北条地域の皆さんが、お祭りでまちを盛り上げていく活動の一部をご支援させていただいたり、人が集まるイベントを一緒に考えたりしています。春の鹿島まつりでは、鹿島でのイベントなどを考えて、たくさんの観光客が昔、河野水軍(このすいぐん)の勝利を祈った神事(しんじ)の櫛練りや、大しめ縄張替え(おおしめなわはりかえ)などの北条にしかない伝統文化を見よう、鹿島に多くの方が渡って来ています。秋祭りでは、浅海から栗井までの7地区のだんじりや獅子舞などをたくさんの人に見てもらい、知ってもらいということで4年に一度開催される「統一かきくらイベント」のお手伝いもさせていただいています。ちょうど昨年がその開催の年で、会場の北条北中学校の周辺には約3,000人に集まっていただきました。これからも地域の皆さんと一緒にお祭りだけではなく、鹿島や高縄山(たかなわさん)などの自然豊かな自然を使って、次世代に引き継げるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

【市長】 同じ松山市でも知らない人もいますけど、北条では川におみこしを投げますよね。初めて見た方はびっくりしますが、皆さんできるだけですね、たくさんの人と大人と話をし、お祭りや地域行事のことを知ってもらいたいと思います。これからの地域を盛り上げていくのは、もう皆さんの世代ですから、うまくバトンタッチをもらって地域を盛(も)り上げていただいたら、松山市もお手伝いすることができますので、しっかり継承(けいしょう)してもらったと思います。

【味酒小】 味酒小学校には、多目的室と図工室という部屋があるんですが、そこの授業では大人数で使うことが多く、夏だとも蒸(む)し暑くなります。そこで、僕たちは換気(かんき)や扇風機(せんぷうき)などの予防はしているんですが、しかしとても暑く、授業に集中できない日々が続いています。そこで、未来の児童たちがよりよい授業を受けるために、エアコンをつけていただけないでしょうか。

【教育総務課長】 松山市では、夏の暑い日や冬の寒い日でも、気持ちよく勉強ができるよ

う、8年前、平成29年度と30年度に市内全ての小学校、中学校の普通教室とよく使う特別教室にエアコンを設置しました。松山市の小学校では、何をしていくのか計画と順番を決めて、順次工事をしており、今は校舎を安全で安心して長く使えるように直したり、トイレを洋風に直したり、エレベーターをつけたりしているところです。学校では、夏の暑い日はなるべくエアコンのついた教室を使うように先生が考えてくれていると思います。また、製氷機(せいひょうき)や大型扇風機も学校に用意して熱中症対策にも努(つと)めています。味酒小学校では、授業の内容によっては、多目的ホールや図工室を使う場合も多いと聞いていますので、何かできないか、また考えてみたいと思います。

【市長】 最後、授業の内容によっては、多目的ホールや図工室を使う場合もあるので、「何かできないか考えてみたいと思います。」って言いましたけど、ちゃんと考えますからね。聞きっ放しにしないので、ちゃんと考えます。味酒小学校の児童さんから、質問を受けたんですけど、味酒小学校にはこれ全国でも珍しいんじゃないかな、特別な歩道橋があります。味酒小学校の前って、JR松山駅の前の道なので、大人の人がまた高校生とか自転車でよく通るんですよ。ちょうど歩道橋から降りてきたら、校門までの間に、その高校生の人とか社会人の人がよく自転車で通るところがあるんですよ。なので、ちょうど歩道橋から降りてきたら、校門の間にその道があるから結構(けっこう)危なかったんですね。なので、あそこは県の道路なんだけど、「松山市がお金出します。」って言って、歩道橋を味酒小学校の校内まで入れたんです。ちょっと二つのなんていうか足があるっていうか階段があるっていうのは、全国でも珍しい歩道橋です。でもね、もう一つ考えると、これをずっと開けっぱなしにしておくと、悪い人がどんどん学校入ってきちゃ困るでしょう。ですので、登下校以外のときはちゃんとシャッターをして入ってこられないように味酒小学校は、ちゃんと校門のところに見守りの方がいらっしゃったりするので、そんなのができたんです。それと、北条小学校の児童さんからの質問で思い出したんですけど、みんな地域のことを知って誇(ほこ)りに思っしてほしいんですよ。北条の權練(かいはね)りって、船に乗って子どもさんと大人の人が踊るんですね。あれば松山市41地区あるけど、他の地区にはない。やっぱり、北条の人が北条地区の人たちが、「あれっていいよね。」って誇ってくれること、それが大事よね。他の地区の人は、ほめてくれるかもしれんけど、やっぱりそれを継承(けいしょう)していくとなると、やっぱり北条地区の人が中心になることが大事だと思うんだよね。なので、各地区でいろんな宝物があるから、それを感じてもらってというのは、後につないでいくことに、とても大事なことなので、道後小学校は道後小学校でいいものあるよね。各地区でいいものがあるので、そういうものを探してもらって好きになってもらいたいと思います。

【日浦小】 子どもが政治に触(ふ)れるイベントをしたいです。若い世代の政治に関する投票率(とうひょうりつ)が少ないと聞いたことがあるとともに、政治ではどんなことをしているのか正直分らないです。政治のことや仕組みが分かれば、興味を持つ人が増えて投票率が上がるかもしれないと思います。例えば、子どもの国というイベントを開催して総理大

臣や国会を模擬的(もぎてき)に行うなどをすると楽しく政治について理解を深められると思いました。今どのような取り組みをしているか、またどのような取り組みをしようとしているか、教えてください。

【市民部長】 政治や選挙に関心を持っていただいております。松山の市議会では議会を行う部屋、「議場(ぎじょう)」って言いますけれども、そちらに小学校の5年生6年生が来て、議会の仕組みを勉強するイベントを夏休みに行っています。議場の中で議員役と市長役などに分かれて、市議会を体験してもらって、昨年は実際の投票箱を持ってきて投票体験も行いました。このイベントの他にですね、学校の方からご希望があれば職員の方が学校に行って、議会や選挙の仕組みを楽しく分かりやすくお話することができます。先生を通してタウンミーティング課の方にご連絡いただければ、そういうことが計画できますので、考えてみてください。よろしく申し上げます。

【市長】 今、政治のことについて質問が出たので、全く政治家になろうと思っていなかったけれども、今は政治家になっている私から政治の話をしていきます。あのね、昔のことを言うと、まず江戸時代、お侍(さむらい)さんの時代は選挙なかったんだよね。明治時代になって初めて選挙が日本でも始まるんだけど、最初は選挙に行ける権利っていうのはみんなに認められてたわけじゃないのよ。最初は男の人だけ。しかも、すごい分かりやすく言うと一定の税金を納めている人しか行けなかったの。言うたら、お金持ちの男の人だけしか選挙に行く権利なかったの。なんかちょっと嫌な感じでしょ。その税金の要件(ようけん)が徐々に撤廃(てつぱい)をされていって、女性に選挙に行く権利が認められたのは、かなり後になってからなんです。ですので、この「選挙に行く」という権利はものすごく大事なことです。明日、愛媛県内でも内子(うちこ)町長選挙っていうのと、お隣の砥部(とべ)町長選挙っていうのがありますけれども、こういう選挙の機会、今はみんな選挙権ないけど、選挙権持つようになったら、絶対に選挙は行ってください。私は「選挙権を放棄(ほうき)するのではなくて、選挙権を行使(こうし)してください」と言ってるんですけど、みんな選挙権持ったら絶対に行使はしてもらいたいと思います。選挙に行ってほしいと思います。みんなの声の集合体が行政であり、政治なので、選挙権は大事にしてもらいたいと思います。よろしく申し上げます。

【三津浜小】 私達は普段(ふだん)の生活の中で緑を見る機会が少ないように感じます。地球温暖化が進んでいて、自然が減っていることを知りました。これらのことから、私達が住む松山が緑でいっぱいになるといいと考えました。木を植えるイベントや昆虫が集まってくる木を増やすなどの取り組みに参加してみたいと思っています。松山城での昆虫探しや、北条鹿島や興居島(ごごしま)での昆虫探しなどのイベントを行ってほしいです。

【都市・交通計画課長】 松山市では緑の基本計画とあって、まちづくりの中での緑のあり方、これを定めた計画を作って、山や農地を守ったり、公園の緑を増やしていったりしています。その他にも地域の方がお世話をする花壇(かだん)、花の種や道路沿いのおうちで庭木

を植えたり、花壇を作ったりする費用の一部を支援しています。また、森林ではよく水が溜(た)まって動物や昆虫も住みやすくなりますので、毎年2月、3月に石手川ダムの上流で竹からクヌギの苗に植え直すイベントをしています。グループでの参加になりますので、ご希望があれば先生に相談して農林水産振興課(のうりんすいさんしんこうか)にご相談ください。また、五明地区にあります松山市野外活動センター、レインボーハイランドでは毎年7月の夜にクワガタを探すイベントや2月には冬を越(こ)す昆虫の観察会などを行っています。「広報まつやま」でお知らせをしていますので、ぜひご参加ください。

【市長】 はい、お願いします。ちょっと今、タウンミーティング課長とお話してたのは、調べてもらったことがあるんです。ちょっとここでご紹介させていただきますね。「水道料金が松山市、高いんじゃないですか。」っていうお話がありましたけども、ちょっと調べさせてもらいました。全国に水道事業やっているところが約1,300団体あります。みんなにできるだけ分かりやすくしゃべりますね。みんな立方メートルは勉強したかい。一般家庭で1カ月に使うのが20立方メートルだそうです。全国平均の水道料金が3,333円。松山市はその20立方メートル使ったらどれだけか言うたら3,170円。ということで、松山市は全国平均より水道料金は安いということになります。これが事実ですね。ここからちょっと難しい言葉になるんだけど、みんな、もうメディアリテラシーって勉強したかな。情報に接して、「それは本当かな。」って調べることはとても大事。今、SNSでいろんな情報が流れてきて、意図的(いとてき)に流される情報っていうのもあります。ですので、「それって本当かな。」って考えるのはとても大事なことになります。私たち公(おおやけ)は、うその情報を流すと、マスコミとか議会の方々とか市民の方からものすごく怒(おこ)られます。ですから正確な情報を流すようにしていますが、皆さん、いろんなニュースソースがあるんだけど、源(みなもと)があるんだけど、それって本当かなって思う、実際に調べてみるっていうことをちょっと意識するといいかないと思います。あのごめんね、否定するような形になるといけないんだけど、水道料金は実際のところはこういうことなんですっていうのをお話させていただきました。

【浮穴小】 これは僕の意見なんですけど、保育士とか介護士とかは絶対に欠かせない職業です。でも、僕の親は介護士と保育士で、給料が低いって昔から言われています。本とかネットとかでも、介護士とか保育士は不遇(ふぐう)な職業として扱われています。そして、ストライキを起こそうとしても、扱(あつか)っている人が小さい子どもや介護が必要な老人とかなので、なかなかストライキも起こせないんで、給料とかの改善(かいぜん)もなかなかできません。そういうのをどうやって対策しているんでしょうか。

【教育総務課長】 保育士さんや介護士さんの賃金には、国からいただけるお金が含まれていると認識(にんしき)しています。松山市では、毎年国に賃金(ちんぎん)を上げてくださいというお願いをして、少しずつですけども上がってきています。また、学校の先生の賃金は、残業代(ざんぎょうだい)の代わりにある程度決まった金額をプラスするよう法律で定

められています。国ではこの金額を増やす検討もしています。なお、働きやすい職場にすることが大切だと思いますけれども、松山市では介護が必要な人を運ぶロボットを使ったり、園に通う子どもの記録をシステム化したり、学校の部活動を地域の方にお問い合わせするなど、デジタル技術や地域の方々の力もお借りした取り組みを進めているところです。

【市長】 今ちょうど動いていることがあって、もうみんなだいが高学年になってるから、できるだけ分かりやすくしゃべるけど、物価がいっぱい上がってるっていうでしょう。そこでお給料と一緒に上がっていかないとしんどいだけなので、松山市では「賃上げ応援奨励金(ちんあげおうえんしょうれいきん)」っていうのを作ってるんですよ。お給料を上げてくれたら松山市として応援しますよっていう制度です。賃上げ応援奨励金。今まさに医療法人とか介護法人でも社会福祉法人でもしてくださいってお願いしているところです。なのでお母さんの話だったかな。どの仕事も不必要な仕事はない。誇(ほこ)りに思って。コロナのときに、エッセンシャルワーカーって言われたでしょ。もう絶対に必要な仕事なんです。介護だったり、看護だったり。えらいなと思ったんだけど、うちの母は2年前に亡くなったんだけど、5年ぐらい介護施設にいたのね。私たちではもう手に負えない、もう本当、専門家の方じゃないとできないことをしてもらってたのね。だからもう世の中に無駄なことなんてないのよ。誇りに思って。もうどれも大事な仕事だから、そうやってみんなの仕事が重なり合って社会ができているので、本当にみんな大事な仕事に携(たず)さわってくださっているのよ、そんなことをみんな今から大人になるにつれて経験すると思います。

【石井東小】 観光客を招(まね)くためについて二つお聞きします。海外や県外からの観光客を松山に招くためにどのようなことに取り組んでいますか。また、今後どのような計画がありますか。

【市長】 いろいろやっています、観光は。コロナの影響(えいきょう)は受けたんですけど、ずっと増えてきている状況ですね。みんな、今年大阪で「大阪・関西万博(おおさか・かんさいばんぱく)」があるでしょう。松山市だけで、そこでやるのは難しいので、全国の温泉地の人たちと一緒に大阪・関西万博でやります。松山のPRします。ちょっと足湯を大阪・関西万博でしようかなんて思ってます。今ですね、台湾、韓国の人、とても多いですね。広島にはオーストラリア、そして欧米の方が多いので、広島から入って来てくださる方いらっしやいます。これは、今まで松山市としてPRしてきたのが功(こう)を奏(そう)してるかなと思います。これ、台湾で私がしゃべってるよ、これ韓国で私がしゃべってるよ。あと、航空会社さんとかJRさんと一緒になって、例えば安いチケットを作ると来やすくなりますよね。そんな動きをいろいろとしています。あんまり長くなったらいかんけど、道後温泉本館が去年工事が終わったでしょ。5年半かかったけど、言ったら100年に1回の大修理が終わったのよ。これは、みんなの世代につなぐためにやってきた。もう100年に1回の大修理が終わったから、みんな世代はあんなしんどいことせんでいいの。それはよかったなと思います。確実につないでいきたいと思います。

【東雲小】 社会の授業で松山市の特産物や観光名所を学びました。みかんは美味(おい)しい道後温泉本館の建物や東雲校区にある松山城も大好きです。また、東雲小では4年生になると、松山城観光ガイドキッズを松山城で行っています。私もこの体験を通して、松山城のいいところをたくさん知ることができました。市長さんが思う松山市の魅力は何ですか。また、その魅力をたくさんの人に知ってもらうために私達にできることはありますか。

【市長】 みんなが分かりやすいように集めてみたんですけど、道後温泉も宝物よね。松山城も宝物よね。やっぱり松山城、お城はお侍(さむらい)さんのときのものだから、江戸時代までにできてるよね。明治からは基本的にはお城できてないね、新しいお城は別にして。なのでちょうどね、1ダースだけあるの。江戸時代までにできた「天守(てんしゅ)」っていうのは、全国に12だけ残っている。その一つを持っているのが松山城。中でも姫路城(ひめじじょう)と松山城は「連立式(れんりつしき)」って言うてすごく立派って言われてます。俳句、今、夏井(なつい)いつきさんが全国のテレビでがんばって、全国だけじゃなく、もう海外にもファンがいるね、俳句のファンがいます。それは正岡子規さんのときからずっと先輩たちがやってきてくれたから、夏井さんもがんばられてドーンといった感じね。素晴らしいね、先輩たちで。もう、みんな飛行機乗ったことあるかな、いずれ大人になると思うけど、飛行機で帰ってくるときのあの瀬戸内の島々のきれいなこと。柑橘(かんきつ)も美味しいね、もう県外の人に食べてもらったら「美味しいね。」って本当に言ってくれる。なので、宝物がいっぱいっていうのが松山の特徴だと思います。宝物がいっぱい。で、重なるんだけど、やっぱりみんなが松山市のことを誇(ほこ)る、好きにならないとあんまり他の所の市の人が「松山市ええね。」いうて言うよりかは、松山市の人が誇ることが大事だよね。そこが大事だと思います。僕は大学だけ外に出ただけけど、やっぱり松山のことが好きで、松山で仕事したいなと思って帰ってきました、大学卒業して。いいんよ、あの県外で働くのも一つの選択肢(せんたくし)だからいいんだけど、どこかでやっぱりふるさととの関わりは持ってほしい。それが大事だと思います。

【新玉小】 僕たちは松山市の人口減少(じんこうげんしょう)について考えました。松山市は2011年に51.5万人の人口がいましたが、昨年に50万人を切ってしまうことが分かりました。また、松山市の人口の約3割が、65歳以上の高齢者(こうれいしゃ)の方々だと分かりました。少子化対策についてどのような対策を行っていますか。よろしくお願いします。

【企画戦略課長】 はい、ご質問ありがとうございます。松山市だけじゃないんですけど、東京以外、地方の都市は、人口がどんどん減っていますね。やっぱりどうしても人口が減ってくると、そのまちの活力(かつりょく)がなくなって衰退(すいたい)していくということなので、松山市もそれを防ぐためにいろんな取り組みをしています。今ちょうど新しい計画、松山の10年間を考えるような計画を作っていて、1万人以上の人からいろんな意見を聞

いて、それを計画にして、この4月からスタートするようにしています。少子化対策というお話だったんですけど、当然若い皆さんがどうやったら、その子どもを持っていただけるのかということ、若い人の意見では、やっぱり収入がないとそういう気持ちになれないとか、出会いの場がないってということなので、その出会いの場を作ったりとか様々な取り組みをしています。そういったまちづくりに関わるような計画を作って、分かりやすいイラストが入った冊子も作るので、皆さんもぜひ一緒に考えてください。

【市長】 はい。例えばね、私が市長に就任(しゅうにん)させていただいたときは、子どもさんの医療費(いりょうひ)ってあるでしょう。医療費って二つに分かれる。普段から行く通院(つういん)と入院(にゅういん)に分かれるんだけど、私が就任したときは、入院・通院については、小学校に入るまでが入院も通院も無料だったの。でもやっぱりこの子育てを支援していきたいという思いで、徐々(じょじょ)に徐々にその枠を拡大してきて今高校3年生まで、18歳まで入院についても通院についても無料にしました。これはお金がかなりいる話なんですけども、ちょっとやりくりをしながらさせていただいています。今、出会いの場所がないってようなこともあるけど、それを松山市が支援したりとか、いろんな形で皆さんのご要望を聞いて、子育てに優しいまちを作ろうとしています。これ引き続きやっていきますので、よろしくお願いします。

【味酒小】 味酒地区にできた新しいJR駅で、味酒小とJR松山駅で何か楽しい、地域の人たちと関われる楽しいイベントなどを計画できますか。

【市長】 はい、どうぞ座ってください。まだ言っちゃいけないんだろうな、近々発表されます。ちょっと私のところには情報入ってるんですけど、ちょっと近々発表されると思います。新しいJR松山駅を使って、こういうことをしますっていうのが発表されると思いますので、それが出たら「市長、なんかそんなこと言ってたな。」って思ってください。

【市長】 ちょっと着陸地点(ちゃくりくちてん)に入っていこうと思います。今日、道後温泉本館のお話もさせていただきましたけど、今ちょうど松山市は良くなる過渡期(かとき)だと思っています。できるだけ分かりやすくしゃべるね。道後温泉本館はもう120年の建物になっていて、木造ね。コンクリートではなくて、あれ木造でしょ。お風呂だから、湿気(しっけ)が多いでしょう。なんで、結構(けっこう)傷(いた)んできてるところがあったんですね。大きい地震が来て、壊れてしまったではいけないので、みんなが心配したのは、僕も心配したけど、工事中にお客さんがすごい減ることを心配したんですね。なので、いろいろとお話聞かせていただいて、飛鳥乃湯泉(あすかのゆ)っていう新しい温泉作らせていただいて、毎年のようにアート事業をやっていて、お客様の減りを食い止めて、道後温泉が去年の7月に直った。もうみんなの時代にはあんなしんどいことは体験しなくていいと思う。しばらくは工事なくて大丈夫だと思います。松山の中で一番お客様の乗り降りが多い松山市駅ですけど、今あの前をきれいに再開発(かいぱつ)っていうのをやっています。来年の秋にできます。



それでね、どうなるのかというと、僕は街頭演説(がいとうえんぜつ)をすることがあるんですが、松山市駅の前に立っていると、足の不自由な方が郊外電車(こうがいでんしゃ)から降りてきたら、市内電車の乗り場まで横断歩道があって、信号があるのよね。言うたら足の不自由な方が一所懸命(いっしょけんめい)歩いてきて、横断歩道で待って、青になったらまた一所懸命歩いていくみたいな光景を見たの。これからどんどん高齢化社会になっていくと、体の不自由な人って出てくる。そういう中で、もう外は歩くの怖いから出れんってなったら、どうしても治るものもなかなか治りにくくなってしまふね。家で閉じこもりになるよりか、できるだけ歩いていただいた方がいいので。なので郊外(こうがい)電車と路面(ろめん)電車の乗り場をひっつける。これあの難しいんだけど「シームレス」「縫(ぬ)い目なし」って言うんだけど、ひっつけたり、広場を作ったり、そんないい土地の使い方をするために、来年の秋、市駅前(駅前)はきれいになります。今日、JR松山駅の話もしたね。今、周りの使い方をいろいろとしっかりと話していますって言いました。なので、道後もきれいになりました。松山市駅も来年にきれいになります。松山駅も今しっかりとお話しています。一番町の電車通りのところに、今やめられた国際ホテルさんがあるんだけど、そして銀天街にも昔のショッピングセンターがあるんだけど、これは民間の方の開発なのね。松山市が土地を持って、松山市が建物を造(つく)るんやったら、比較的(ひかくてき)早くできる。それは自分たちが持つてる土地だから。でも、国際ホテルさんとか銀天街のことは民間の土地で、民間の建物を作るから、ちょっと難しいのよ。でも全力で松山市は支援しています。銀天街も、そのショッピングセンターのところが出すってなったら、周りのお店は様子見てるんで、また出してこられると思う。なので、いろいろと目配(めくば)りをしながら、君たちの世代にしっかりと松山をつないでいくためにいろいろと大人たちががんばって動いていますので。今日言ったよね、地域の宝を認識(にんしき)して、それをつないでいくこと、松山のこと好きになってもらうこと、地域のことを好きになってもらうことはとても大事なことで、それをお願いできたらと思います。あの今日で3回目の小学生。全部で53校の皆さんと意見交換できました。中学校の皆さん29校とは、もうこれまでに終わってます。子どもの皆さんがどういうことを考えてるのかってある程度ですけど、分かったので、これからもがんばって僕らが汗かいて、みんなの世代に、「いい松山だね」って思ってもらえるように、また引き続き汗かいていきたいと思います。またよろしく願います。今日はありがとうございました。

—了—